

平成 23 年度 第 4 回 石狩市地場企業等活性化審議会

日時 11 月 25 日(金) 15:00～17:00

場所 石狩市役所 5 階 第 2 委員会室

次 第

1. 開 会

会長挨拶

2. 議事

(1) 石狩市地場企業等活性化計画(第3次計画) 審議・総括

Ⅳ. 石狩市地場企業等活性化の基本方向に向けての方針

4. 活力ある地域産業の展開

5. 地場企業等の支援システムの形成

Ⅴ. 特定地場産財の指定と支援のあり方

3. その他

4. 閉会

石狩市

座 席 表

《第2委員会室》

《事務局》
主任
田 原

副会長
後藤 正和
(ごとう まさかず)

会 長
北山 隼
(きたやま たかし)

委 員
松尾 拓也
(まつお たくや)

委 員
和田 郁夫
(わだ いくお)

委 員
岡林 位和
(おかばやし のりかず)

委 員
大江 徹
(おおえ とおる)

委 員
有田 祐司
(ありた ゆうじ)

委 員
荒関 淳一
(あらぜき じゅんいち)

委 員
瀬尾 英幸
(せお ひでゆき)

(傍聴者・報道関係者席)

《事務局》
主査
高 石

《事務局》
課長
武田 渉

《事務局》
部長
佐々木 隆哉

《事務局》
主査
中 村

出入口

(関係者席)

石狩市地場企業等活性化計画第3次計画策定審議スケジュール

平成23年度石狩市地場企業等活性化審議会

		審議会等内容	その他事項
7/25 15:00 庁議室	審議会 (第1回)	・ 2次計画の概要及び実施状況の説明 ・ 今後のスケジュール・審議方針等	委嘱 諮問
8/26 13:00 第2委員会室	審議会 (第2回)	・ 背景、状況、現状と課題について ・ 審議	
9/29 15:00 第2委員会室	審議会 (第3回)	・ 審議	
10月下旬			
11月下旬	審議会 (第4回)	・ 審議 ・ 答申について（口頭・概要）	
12月中旬		・ 答申案（総括含む）各委員へ送付	
1月中旬	審議会 (第5回)	・ 答申について	答申について、場合によってはもう1回審議会を開催（予算的には可）
1月中旬		・ パブリックコメント案 委員会へ事前送付	・ 委員会日時未定
1月下旬		・ パブリックコメント案 各委員へ送付	パブリックコメントの実施 (1月間 2月1日～)
3月中旬			パブリックコメント検討結果の 公表
3月下旬		3次（新）計画の決定	審議会答申、パブリックコメント 検討結果踏まえ

答 申 書

＝地場企業等活性化方策に関する提言＝

平成 24 年 1 月 13 日

石狩市地場企業等活性化審議会

答申のとりまとめにあたって

本提言は、石狩市が「石狩市地場企業等活性化計画（平成 11 年 2 月策定、平成 14 年 12 月改定、平成 21 年 6 月改定）」の再度の改定にあたり、平成 23 年 7 月 25 日、当審議会に対して諮問がなされ、5 回にわたり行われたり、現行計画（第 2 次計画）に対する総括、検討が行われ、その審議が行われた結果を取りまとめ、答申としたものである。

現行計画が改定された平成 21 年と比べ、東日本大震災、電力供給、エネルギー政策、ヨーロッパ経済危機による超円高の恒常化など、当時から懸念されている少子高齢化の激流、グローバル化への対応なども含め、日本の経済は非常に大きな転換期を迎えている感がある。そのような中、石狩市では財政再建計画を終え一定の目途を付けたが、このような景気動向の中、本市では新港地域が活性化しているが、依然として行財政運営は厳しいと言わざるを得ない。

このような情勢の中、石狩市の地場企業がより活性化するには、個別企業の「自主・自立」の精神を抛り所とし、先進的・創造的な企業活動に求めるべきであり、また、石狩市や市内経済団体についても政策・事業評価などによるスクラップ・アンド・ビルドに努め、一層の効果的な事業・施策の展開を図るべきと考える。

以上の基本的な考え方に沿って、現行計画の施策体系とこれからの事業展開についての提言を行いたい。

地場企業等活性化方策に関する提言

本計画の改定に向けて、当審議会に対して諮問された事項について、現行計画の施策体系と市のこれまでの事業展開について総括したものを整理し、以下、はじめに、計画全体に渡る部分を提言し、次に、個別施策への提言として、施策体系の大項目ならびに中項目単位で事業展開の方向を提言し、答申とする。

計画全体に渡る提言

現行計画については、総花的な印象が強いが、計画の実行は、主に企業や商業関係者が主体となって実施していくこととなるので、行政のみならず全市的に見た内容となっているところであり、この提言を受けて改定されるであろう第3次計画についても、市の施策のみの計画ではなく、地域全体からの視点による改定となるよう提言する。

また、計画全体を総括的に見て、次の視点も必要と思われるので、総合的な視点として提言する。

札幌圏に隣接する都市としての特徴、具体的には、石狩市の人口のおよそ半数は、昼間札幌へ働きにきて夜に自宅へ寝に帰り石狩市での消費行動は行わない、対症的に、札幌市からは、およそ1万4千人が昼間石狩市へ働きに来るが、昼夜石狩市での消費行動は行わず、早々に札幌の自宅へ帰る。このような特徴を理解し購買力を取り込むよう努力し、今後のさらなる高齢化進行を見据え、地場企業と住民が魅力ある地域づくりを行うことを提言する。

個別施策への提言

1. 地場企業等育成と産業技術の開発促進

(1) 試験研究機関、支援機関との連携

公的試験研究機関との連携については、積極的に推進し、ホームページ上での情報発信などを分かりやすくし、市内各経済団体が有機的に連携して取り組むことを提言する。

また、建設業のみならず幅広くビジネスモデルの成功事例を積極的に収集・情報提供し、地場企業の活性化を喚起し、特に積雪地域における根幹企業となる建設業への支援は、経営の多角化、新分野進出後の経営相談などの情報提供に努めることで、活性化を図ることが必要であることを提言する。

(2) 地域産業クラスターに向けての検討促進

企業間同士のマッチングの場は、非常に重要であり、各団体組織、支援組織などで同業種の部会等の定期的な交流の場を多く作り、情報交換ができれば、地域産業クラスターを推進するうえで有効な手段であり、また、同業種もさることながら異業種の交流、意見交換や情報提供する場があれば飛躍的に伸びる可能性があることから、このような場の醸成が重要であり、さらに推進することを提言する。

(3) 農商工連携事業、新連携事業及び地域資源活用事業の活用

農業の現場における、例えばビニールハウスなどの季節的未利用資源の活用等も考慮し、国・道の

制度を有効かつ積極的に活用し、今後とも推進することを提言する。

また、6次産業化の視点も取り入れることを提言する。

(4) 金融支援の強化

金融は企業の動脈なので、有効な融資制度の紹介や、信用保証料補助、利子補給等の制度による円滑な資金調達と、安定経営に資する経営相談を両輪とし、より企業の安定経営を図ることを提言する

2. 人材育成と確保

(1) 関係機関等との協議・協力体制の強化 (2) 労働力確保への支援

今後、当然少子高齢化になるので、これからはねむっている労働力を活用し、現役時代のノウハウを活かせる高齢人材や、季節的な労働力などを有効活用する施策を調査検討することを提言します。

3. 地場産財の普及と販路拡大

(1) 地産地消の促進 (2) 石狩ブランドの確立 (3) 周辺自治体との連携

地場産品のPRは今後とも積極的に進めていくべきであり、とれのさとの立地・機能をさらに有効活用し、PRを推進し、地産地消を足がかりとし、ブランド化に向けた事業者の取組み支援も積極的に今後も進めていくことを提言する。

また、石狩ブランドのロゴマークについては、さらに効果を高める仕組みづくりと、これを活用し地域一丸となって取り組むことを期待したい。北海道外においては、石狩市が有名では無くても、北海道の石狩という言葉は知られており、このことを恵まれていると理解し、地場企業が外に目を向ける際に有効に活用して頂きたい。

これまでどおり、周辺自治体と連携を強化し、出展支援に関しても積極的に推進ことを提言する。

4. 活力ある地域産業の展開

(1) 魅力ある商店街づくり

(2) 建設業の革新

(3) 取引関係の強化拡大

5. 地場企業等の支援システムの形成

(1) 組織体制の強化

(2) 起業等相談連携体制の確立

終わりに

なお答申事項ではないが、次の点は地場企業活性化へ有用な点もあることから、附言する。

新港地区への企業誘致活動は、企業立地により新たな活力が生まれ、その進出企業と古参企業が有機的に結び付くことにより、さらに地域への経済・雇用の波及効果が生まれることもあり、地場企業等活性化の為に積極的に行う必要がある。また、商店街振興にかかり、コミュニティの視点を入れるということであるが、商店街は、少子高齢化という社会情勢変化を踏まえ、メインは経済活動だとしても、地域コミュニティの核になってる場合も多く、地域と事業者が一丸となり担う役割を考える必要がある。

そして、少子高齢化対策については、地場企業活性化の視点のみだけではなく、全市を挙げて積極的な対応を行わなければならない。

終わりに、それぞれのお立場から、知見に富む建設的な意見を頂き、また、円滑な審議会運営と取りまとめにご協力をいただいた委員各位に対し、深く感謝申し上げます。

平成 24 年 1 月 13 日

石狩市地場企業等活性化審議会
会長 北 山 寛

石狩市地場企業等活性化審議会委員名簿

会 長

副会長

委 員

計 9 名 （任 期：平成 23 年 7 月 25 日から平成 25 年 7 月 24 日まで）